

～スタートは、あいさつから～

# 市民協働をすすめる ための行動指針

～わたしたちのまちは、わたしたちで～



●桜岡子ども見守り隊による安全・安心な通学路づくり●

●岩松地区の区長会・育友会・青少年育成会による祇園川クリーン作戦●

## 「参加」から「参画」…そして「協働」へ

近年、「市民協働」という言葉を耳にされることも多いと思います。

それは、これまでと社会や生活スタイルが変わっていく中で、今までのように“何でも任せきりではいけませんよ”というメッセージのようです。

これからは、市民一人ひとりが小城市づくりの土台となっていることを意識し“より良いまちづくり”をみんな一緒になって考え、知恵を出し、行動していくことが必要となってきています。

“協働ってなかなか難しい”とお考えの方も多いことでしょう。

いきなり、「協働」から始めず、あなたにできることから「行動」し、「参加」することから始めてみませんか？

少しずつでいいんです。

少しずつ、気づいたことから行動し、一人から二人へと仲間を増やし、同じ想いのもとに行動していくのです。

小城市は、これらのきっかけづくりとして、この「市民協働をすすめるための行動指針」を市民の皆さんとの協働によりつくりあげました。

“気づいていただきたい。”～わたしたちのまちは、わたしたちで～

この指針をあなたに贈ります。

あなたが持っているその力が今、求められ、必要とされています。

そのことが、ふるさと小城市の力となるのです。

一歩踏みだし、行動するときです。

一緒に小城市のために、できるところから取組んでいきましょう。

“さあ！あなたの出番です！”



●NPO佐賀げんき会による資源物回収●